

# 東日本大震災の記録



会津若松建設事務所  
建築住宅課  
専門建築技師 橋本知幸

## 県営住宅災害復旧工事の概要について(途中経過報告)

施工場所: 会津若松市門田町大字黒岩字大坪地内(県営大坪団地)

### 1. 概要

- 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、県営大坪団地内で大規模な液状化現象が発生し、設備配管の断絶や住棟の傾斜、付属施設の破損等が生じたことから、入居者の安全で安心な生活を取り戻すため、災害復旧工事を実施している。

#### <団地概要>

建設年次: 昭和58年~60年

規模: 鉄筋コンクリート造 3~4階建て 全18棟 150戸

### 2. 経緯・課題

- 湿地を埋め立てて建設された本団地では、様々な軟弱地盤対策が行われていたが、地震による液状化で外構や給排水設備等に多数の被害が生じたことから、入居者の日常生活の維持を念頭に復旧工事を進めている。
- 工事の実施にあたっては、入居者への丁寧な説明を重ねて理解を得るとともに、傾斜住棟の入居者に対しては、団地内外への移転をお願いしている。

#### <経緯>

平成23年3月	東日本大震災による外構や給排水設備に大規模被害が発生、応急復旧を実施
平成23年4月	住棟傾斜を確認(3棟/全18棟)
平成23年6月	傾斜住棟の基礎杭破損を確認
平成23年10月~平成24年6月	外構及び給排水設備の本復旧を実施
平成23年11月~平成24年3月	傾斜住棟の復旧工事実施設計
平成24年6月	傾斜住棟の入居者移転
平成24年7月~	傾斜住棟の復旧工事实施中



県営大坪団地

施工箇所



給排水管の破損



基礎杭の破損

### 3. 内 容

【全体事業費】7億4千万円(移転補償含む)

【事業期間】平成23～24年度

【事業内容】

給排水本復旧 1式 H24.6完了

外構復旧(舗装等) 1式 H24.6完了

傾斜住棟復旧

・2,13号棟 基礎杭復旧 N=49本×2

(進捗率62%)

・16号棟 基礎杭復旧 N=76本(進捗率46%)

※H25.1.23時点

### 4. 進捗状況・創意工夫

・平成25年1月現在、団地内の給排水設備及び外構、付帯設備等の本復旧は、全て完了している。

傾斜住棟復旧工事(3棟)においては、地下水の止水のための山留め矢板工や余震への安全対策工が完了し、新設杭の作業床を確保する土工事と新設杭工事を進めている。



傾斜住棟(2号棟)



建物周囲の水平拘束材(余震対策)(2号棟)



杭圧入用油圧ジャッキ

新設鋼管杭  
1mずつ溶接しながら圧入

新設杭の圧入(16号棟)

### 5. おわりに

・傾斜住棟の復旧工事は、全国でも前例が少なく、工法の選定や施工可否、入居者の移転先の確保等に多くの時間と労力を費やした。また、傾斜住棟の周囲では、他の住棟の入居者が生活していることから、団地内での事故対策や大きな余震への安全対策を徹底しながら、引き続き工事の適切な進捗監理に努めていく。

施工フローチャート

準備工

①土工事・切梁工

②鋼管杭圧入

③座屈防止基礎CON

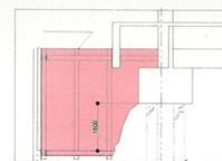
④ジャッキアップ

⑤基礎(上部)CON

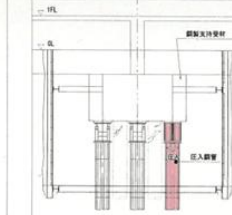
⑥埋め戻し

復旧

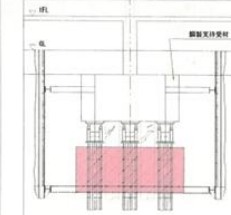
①土工事・切梁工



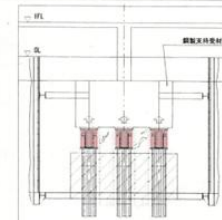
②鋼管杭圧入



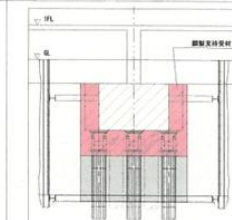
③座屈防止基礎CON



④ジャッキアップ



⑤基礎(上部)CON



⑥埋め戻し

